



さとう・えいち

昭和36年生まれ。明治大学法学部法律学科卒業。昭和61年3月から平成16年11月まで北関東観光開発(株)代表取締役。平成9年(社)宇都宮青年会議所理事長就任。平成12年(社)日本青年会議所副会頭就任。ほかに、宇都宮商工会議所青年部会長などを務める。平成16年11月28日から宇都宮市長(4期目)。

日本も世界も大きく揺れた、2016年。宇都宮市では市長選挙が行われ、佐藤市長が四選を飾りました。1月号恒例の新春対談では、ともに新しい任期を迎えた佐藤栄一宇都宮市長と北村光弘会頭に、これからの宇都宮について話し合っていました。

「超高齢社会や人口減少に対応できるまちづくりを進めたい」

(佐藤市長)

北村 佐藤市長、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

佐藤 こちらこそ、本年もよろしくお願いたします。

北村 また、昨年11月20日に行われた宇都宮市長選挙で当選され、四期目を迎えられるました。おめでとうございませう。今回の選挙戦はいかがでしたか。

佐藤 今回の選挙はLRTが争点になりました。有権者の方々が私を選んでくださいましたので、今期はLRTをはじめ、高齢社会や人口減少に対応できるまちづくりを進めていきます。また、選挙戦を通じてLRTに対する誤解が、市民の皆さまの中に残っていると感じましたので、正しい情報のもとご理解を深めていただけるよう、こ

◎特集

新春対談

人口減少時代に、いかに対応するかがキーポイント！
魅力アップで、外から人を呼び込み、住んでもらうことが大切

宇都宮市長

宇都宮商工会議所会頭

佐藤栄一 × 北村光弘

れまで以上にいいねにご説明をさせていただきたいと考えています。宇都宮商工会議所にも、ぜひお力添えをお願いいたします。

北村 会頭も、昨年11月に三期目を迎えましたね。おめでとございませう。

北村 ありがとうございます。昨年11月1日に再度皆さまに選んでいただきました。同時に加藤副会頭、藤井副会頭のお二人が新しく就任されましたので、新たな体制で、事業に取り組んでいきたいと考えています。

今年、行政のご理解もいただきつつ、(自助努力)を主とした商工会議所の活動に取り組んでまいります。少子高齢化にせよ人口減少時代においては、行政だけに頼るので

はなく、経済界が自らの力で乗り越える努力をすることが、大切だと考えています。

「官民一体となって、経済を活性化していきたい」

(北村会頭)

北村 さて、昨年の事業を振り返りますと、市制120周年であり、また合併10周年でもありました。記念の年でしたね。

佐藤 はい。60余りの記念イベントの実施や宇都宮市立二条中学校の移転、JR岡本駅の橋上駅舎、上河内・河内地域自治センターの落成などさまざまな事業を行いました。

特に合併については、あつという間の10年だったなと感慨深いものがあります。

北村 合併後、三つの地区が次第にまとまってきましたね。

佐藤 そうですね。合併後については「一体感の醸成」をめざし、さまざまな事業を手がけてきました。河内、上河内、それに宇都宮の三つの地区が、ひとつにまとまることを主眼においてきたつもりです。今後「合併したことを忘れてしまった」と言われるくらいに、一体感をさらに醸し出せるよう、がんばります。

その他の事業としては、バスケット「FIBA 3x3 (スリーバイスリー) ワールドツアー」の開催や、恒例のジャパンカップの第25回記念大会の実施——これは二日間、13万5千人が参加しました。さらに「全国餃子サミット&全国餃子祭り」の実施、こちらも22万人が参加されました。

こうした事業により、国内はもちろん世界に向けて宇都宮を発信することができたと思います。こうした事業は継続が重要ですから、今年もさらに力を入れていきたいと考えています。

北村 餃子祭りは、5月の「全国餃子祭り」と、11月の「宇都宮餃子祭り」に、

かなりの人数が来場されました。NHKや民法各局で取り上げていただけましたこともあり、大盛況だったと思います。今後はさらに、当所としての情報発信力も高めたいと思います。

人は出るようになりましたが、物販の伸びがまだ弱いという問題点も明らかになりました。せつかく行政も力を入れているので、官民一体となって、より多くの方に宇都宮を訪れて消費していただき、経済を活性化していきたいところです。

佐藤 中心商店街で昨年2月から始めた「まちゼミ in うつのみや」(得するまちのゼミナール)事業が好評ですね。

北村 ありがとうございます。全国的に広がっている「まちゼミ」は、従来の地域活性化事業とは違い、「個々の店舗が自分のファンづくりをする」ことが主眼となっています。第1回は2月に開催で20店舗、第2回は8月で27店舗に参加していただきました。一つひとつの店が輝くことにより地域全体の活性化につながる、というのが基本的な考え方です。この取組はまだ2回目ですが、はやくも手応えを感じていますので、今後も商店街が継続していきけるよう、当所としてもバックアップしていききたいと考えています。

「宇都宮市や栃木県出身のアスリートがすばらしい活躍」

(佐藤市長)

北村 今年は、何といつてもスポーツが大きな話題となりました。

きたむら・みつひろ

昭和17年生まれ。慶応義塾大学法学部法律学科卒業後、(株)横倉本店に入社。平成12年から同社代表取締役会長を務める。平成19年から宇都宮商工会議所副会頭を務め、平成22年11月に第18代会頭に就任。ほかに公正取引委員会独占禁止政策協力委員、宇都宮卸商業団地(協)副理事長など多数務める。



5月に行われた全国餃子サミット

佐藤 さきほど触れた「3×3（スリーバ イスリー）」や「ジャパンカップ」のほかに、ブラジルのリオでオリンピックやパラリンピックが開催され、宇都宮市や栃木県出身のアスリートが素晴らしい活躍をされました。さらに、作新学院高等学校が夏の全国高等学校野球選手権大会で54年ぶりの優勝を果たし、12月にはろまんちっく村で全日本シクロクロス選手権大会も開催され



佐藤 それにしても、昨年は経済も政治も大きく動いた年でしたね。北村会頭はどのように感じられましたか。
北村 大きな枠組みであるEUの問題、TPPの問題といったグローバルな問題が、栃木県や宇都宮市というローカルな経済界にまで波及してきたという印象を強く持っています。
佐藤 11月のアメリカ大統領選挙でドナル



FIBA 3×3ワールドツアー うつのみやマスターズは7月30日、31日開催

ました。宇都宮全体がスポーツで沸いた年でしたね。強く印象に残る1年でした。北村 ジャパンカップは昨年第25回目を迎え、特に盛り上がりました。

佐藤 参加選手も世界のトップアスリートが多く、私も「間違いなくアジア最高位の大会に成長した」と感じました。

北村 大会を開催できました。そういった「初めて」「全国」「世界」という冠のつくものが多かったのも、宇都宮を知ってもらおうチャンスとして、とても良かったと思います。

北村 当所でもさまざまなイベントを開催したり、市や民間のイベントにご協力することで、地域活性化を行ってきました。私どもの活動の中でも、重要な事業として位置付けています。

ただ、残念だったのは、10月に開催された城址まつりで爆発事件があったことです。あの時はたまたま私も、大名行列を模した姿で市内を巡っており、音は聞こえませんでした。会場である城址公園の方から真つ黒な煙が立ち上っているのを見て、びっくりしました。被害に遭われた方にはお見舞申しあげます。

佐藤 安全安心を心がけて市政を行ってきたので、あのような事件が起ったことは大変残念です。事件の後、「イベント開催における危機対策の手引き」を新たに作成して関係部署に配布するなど、市としても対応を行っています。あのような事件はいつ、どこで起

ド・トランプ氏が当選し、株価や円も大きく上下しました。

北村 全国的に、景気も決して良くはないという印象を受けています。また人手不足も深刻で、中小企業の5割超が人手不足を感じているという調査結果もあります。

佐藤 足利銀行を含む「めぶきフィナンシャルグループ」が10月に誕生しました。

北村 全国第3位の地銀グループの誕生は、大きいニュースです。これが地元企業にプラスの効果を発揮してもらえらることを期待しています。

こうした経済状況を踏まえて、当所でも会員企業支援に力を入れてきました。さきほどの「まちゼミ」もそのひとつです。昨年の4月には経済産業省から、小規模事業者支援法に基づいた「経営発達支援計画」の認定をいただき、今後5年間にわたり小規模事業者を対象とした事業計画策定や販路開拓を支援しています。

佐藤 行政としても、商工会議所と連携を密にしつつ、行政レベルでできるさまざまな企業支援、経済活性化に力を入れていきます。中小企業支援はもちろん、企業誘致活動や成長産業支援などに、今後も取り組んでいきます。

それから、今後の地域社会にとって、流入人口の増加は重要なキーワードです。イベント開催など、地域の魅力づくりも、重要な施策だと捉えています。

このか分かりませんから、その時に職員が誰が対応しても大丈夫なように、さらに対応力を高めていかなければと感じています。

幸い、宇都宮市には国や県と連携し、災害対策にあたるための「国・県・市災害対策連絡協議会」があり、これまでも関係部署や警察、消防などの連携をきちんととってきています。今後安全安心能力は高いと思います。今後も安全安心を推進していきます。

北村 「週刊東洋経済」の「住みよさ度」ランキングで、宇都宮市は50万人以上の都市の中で4年連続のトップとなりました。これも行政の努力の成果が大きいと感じています。私どもも、負けずに力を注いでいきたいですね。

「宇都宮は大きなポテンシャルがあると言われた」

(北村会頭)

北村 冒頭でもお話がありましたが、LRTは今年いよいよ、本格的に取り組みがスタートします。

佐藤 私ども宇都宮市が、今後の人口減少・超高齢社会、さらには地球環境までをみすえて進めているネットワーク型コンパクトシティの、ひとつの核となるのがLRTです。これまでも市民の皆さまに周知しご理解いただけてきたつもりでしたが、今回の選挙で、より力を入れてご説明させていただく必要を感じました。

持続可能な都市・宇都宮の実現のために、ネットワーク型コンパクトシティはどう

「人が来てもらえる住みやすいまちづくりを」

(佐藤市長)

北村 地域の魅力づくりは私どもも第一に考えていることです。

佐藤 意識して魅力づくりをしていかないと、人は減ってしまうと思います。現在生活している人をつなぎ止めることも、外から人を呼び込むことの重要性は、近年特に注目されています。それはイベントもそうです。交通や教育の充実など、生活レベルの環境整備も不可欠です。

北村 そこでネットワーク型コンパクトシティの実現ですね。

佐藤 住みやすい街づくりを、さらに進めていけば、宇都宮に住みたい人がどんどん増えていきます。

北村 まずは自分の街を愛し誇りを持つことが大切です。そして、人を呼び込むには、まず他の地域の人に来ていただいて、宇都宮の魅力に触れていただくなくては。当所では、観光事業にも注目しています。

佐藤 市でも観光は重要なポイントと考えています。

北村 近年、大谷地区の魅力発掘が進んでいます。大谷のポテンシャルは大変大きく、民間の方々も注目して、さまざまな観光事業を展開しつつあります。宇都宮市でも観光客を増やすひとつの重要なポイントとして、大谷地区の活性化に取り組んでいます。北村 今年から再来年にかけて、デザインネーションキャンペーンが行われます。栃木



2月と8月に開催した「まちゼミ in うつのみや」

しても欠かせません。LRTで東西交通の軸を作り、バス路線と有機的に絡めて市内全体に公共交通のメッシュを作っていくれば、生活者にとっても勤労者・学生にとっても、便利で住みやすい・働きやすい宇都宮市が実現できると考えています。また、郊外部にはすでに12地区でデマンドタクシーが運行されており、これらによりLRT・バスによる公共交通網を補完するまちづくりをめざしています。

北村 当所としても、経済団体として、交通未来都市宇都宮をぜひとも成功できるように、がんばっていきたくと思っています。

先日、ある全国展開の企業の方から「栃木県の物流は、もともと良くなるのが期待できる。特に宇都宮は、大きなポテンシャルがあると思う」とお話をいただきました。まちづくりには経済活性化が欠かせません。よりよい宇都宮市の実現に、経済団体も責任重大だと感じています。

県、宇都宮市を全国に発信する大きなチャンスです。

宇都宮市は東京に近いですし、鉄道や高速道路で広域交通のアクセスも良い。その割に地価は比較的安いので、魅力に触れていただければ、移住してくる方も増えるのではないのでしょうか。当所としても一時的な観光魅力アップに留まらず、中期的・長期的な地域活性化にも、ぜひつながられるよう、努力したいと思っています。

佐藤 外から来られた方、他の都道府県から栃木県、宇都宮市に移り住まれた方からは、本当に「ここはいいところですね」と褒めていただけます。その「良さ」「魅力」を、もっともっと広げていきたいですね。商工会議所の事業にも、期待しています。今年もよろしく願います。

北村 ありがとうございます。今年も地域経済発展に力を注いでいきますので、ぜひよろしく願います。



第25回記念ジャパンカップが10月22日、23日に開催(写真はクリテリウム)